



平成30年度安芸地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）について

安 芸 地 域 本 部

平成30年2月16日（金）

地域アクションプランの動向

H29年度 241 → H30年度 236 (▲5)

地 域	H29年度 (第3期ver.2)	H30年度 (第3期ver.3)				
	AP数 H29.9.19時点	追 加	削 除	統 合	小 計	AP数
安 芸	32	0	0	(2→1) ▲ 1	▲ 1	31
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	23	1	0	0	1	24
仁淀川	38	0	▲ 1	0	▲ 1	37
高 幡	43	0	▲ 2	0	▲ 2	41
幡 多	48	1	▲ 2	0	▲ 1	47
合 計	241	2	▲ 6	▲ 1	▲ 5	236

※ 削除6件のうち、自立:2件
産業成長戦略として実施:2件

安芸地域アクションプラン項目（第3期計画ver.2（H29年度）と

No.	平成29年度	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		9	6	7	7	6	6	5	5	4
1	ユズを中心とした中山間振興	●	●		●	●	●	●	●	
2	ポンカン加工品開発と後継者確保による地域振興			●						
3	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進						●			
4	白下糖の生産拡大と新商品の開発									●
5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●						
6	林業加工品の販売の促進								●	
7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
8	安芸市のシラス漁業者所得の向上		●							
9	海洋深層水による地域産業の推進	●								
10	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大	●								
11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化		●							
12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
13	有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓			●						
14	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進				●					
15	完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用					●				
16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組					●				
17	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化									●
18	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大				●	●	●	●	●	
20	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興	●								
21	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	●								
22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進		●							
23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進			●						
24	藤村製絲を活用した観光振興				●					
25	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大							●		
26	旧椎名小学校を活用した地域振興	●								
27	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり		●							
28	奈半利ブランドの確立と販路の拡大				●					
29	安田中山地区の活性化プロジェクト						●			
30	北川村中部地区の活性化プロジェクト							●		
31	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト								●	
32	集落活動センター「げいせい」を拠点とした”小さくてもっと元気で輝くむら”づくり									●

第3期計画ver.3 (H30年度) の対比表

【安芸地域】

		室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	平成30年度
		9	6	7	6	6	6	5	5	4		
		●	●		●	●	●	●	●		1	ユズを中心とした中山間振興
				●							2	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興
							●				3	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進
									●		4	白下糖の生産拡大と新商品の開発
		●		●							5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
									●		6	林業加工品の販売の促進
①	拡充	●		●	●	●	●				7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大
			●								8	安芸市のシラス漁業者所得の向上
		●									9	海洋深層水による地域産業の推進
		●									10	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大
			●								11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
				●							12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興
				●							13	有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓
→	統合				●						14	地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大
						●					15	完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用
						●					16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組
									●		17	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	18	安芸地域の観光振興の推進
②	拡充				●	●	●	●	●		19	日本遺産を活用した中芸地域の活性化
		●									20	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
		●									21	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大
③	拡充		●								22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進
				●							23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進
					●						24	藤村製絲を活用した観光振興
								●			25	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大
		●									26	旧椎名小学校を活用した地域振興
			●								27	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり
							●				28	安田中山地区の活性化プロジェクト
								●			29	北川村中部地区の活性化プロジェクト
									●		30	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト
									●		31	集落活動センター「げいせい」を拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり

安芸地域アクションプランの追加・削除・拡充等

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充、統合)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大（室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町）</p> <p>【実業主体】室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会、(有)タカシン水産</p>	<p>【拡充】室戸近海のマグロのPRを行う「土佐室戸鮪軍団」とマグロを活用した加工品の開発・製造・販売を行う「美阿丸」を事業主体に追加し、加工品の製造・販売の取り組みを強化する。</p>
2	<p>No.14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進（奈半利町）</p> <p>【実業主体】奈半利町、JA土佐あき、奈半利なんでも市加工グループ、(一社)なはりの郷、NCL48、漁協女性グループ</p> <p>No.28 奈半利町ブランドの確立と販路の拡大（奈半利町）</p> <p>【実業主体】奈半利町、(一社)なはりの郷</p>	<p>【統合】集落活動センターなはりの郷が中心となって、加工品の開発・販売促進や奈半利ブランドの確立に向けて一体的に取り組むこととなったため統合し、プラン名を「地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大」に変更する。</p>
3	<p>No.19 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>【実業主体】奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会、「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会</p>	<p>【拡充】魚梁瀬森林鉄道遺産等の日本遺産認定を受け、より一層の交流人口の拡大と地域ブランドの構築を目指し、情報発信等の取り組みを強化する。</p> <p>また、魚梁瀬森林鉄道遺産だけでなく、他の中芸地域の観光資源等も活用していくため、プラン名を「日本遺産を活用した中芸地域の活性化」に変更する。</p>
4	<p>No.22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進（安芸市）</p> <p>【実業主体】安芸市、安芸市観光協会、漁協、伊尾木あなごう保存会、内原野陶芸館、JA土佐あき、安芸市観光ボランティアガイドの会、廊中ふるさと館、メリーガーデン、はたやま夢楽、安芸「釜あげちりめん井」楽会、道の駅大山</p>	<p>【拡充】観光客数が増加している伊尾木洞の観光案内施設等及び土佐ジローの加工処理施設の整備を追加する。</p>

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 安芸地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 《室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町》	安芸地域の水産物の6割以上を占め地域経済への波及効果の大きい定置網の漁獲物を中心に、高鮮度化(神経π等)や加工による高付加価値化、新たな販路の開拓による有利販売の取組を促進することにより、漁業所得の向上につなげる。	〔定置網漁獲物〕 ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 〔水産加工〕 ・(有)タカシン水産	アクションプランの取組開始:H21 ・キンメダイの冷凍フィレがサンプル出荷(H25)を経て、定着化 ・定置網漁獲物の簡易加工(イカ沖漬け)を試行(H26) ・大阪の量販店での宣伝販売の実施(H26) ・ハダカイワシ等、低利用魚の加工商品を製造販売(H26) ・定置網漁獲物の高鮮度処理(神経π等)を試行(H27) ◆関西市場を中心にキンメダイのPRを行ってきた結果、高級食料としてのキンメダイの認知度が向上し魚価の上昇につながった。 また、キンメダイの冷凍フィレが業務筋から高い評価を受けるとともに、地域グルメのキンメ丼の材料として定着し、販売額が増加した。	・定置網漁獲物の付加価値向上 ・定置網経営体の収入の安定化 ・水産加工の促進による付加価値向上	◆高鮮度処理魚の安定生産と販路確保 〔室戸市定置漁業振興協議会〕 ◆漁業者による簡易な自家加工品の製造販売 〔中芸定置網漁業振興協議会〕 ◆高鮮度を売りにした定置網漁獲物の販売促進 〔中芸定置網漁業振興協議会〕 ◆安定的な漁業生産の確保 ◆生産性向上と販路拡大

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 安芸地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 《室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町》	安芸地域の水産物の6割以上を占め地域経済への波及効果の大きい定置網の漁獲物や近海マグロを中心に、高鮮度化(神経π等)や加工による高付加価値化、新たな販路の開拓による有利販売の取組を促進することにより、漁業所得の向上につなげる。	〔定置網漁獲物〕 ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 〔近海マグロ〕 ・土佐室戸船重団 ・義阿丸 〔水産加工〕 ・(有)タカシン水産	アクションプランの取組開始:H21 ・キンメダイの冷凍フィレがサンプル出荷(H25)を経て、定着化 ・定置網漁獲物の簡易加工(イカ沖漬け)を試行(H26) ・大阪の量販店での宣伝販売の実施(H26) ・ハダカイワシ等、低利用魚の加工商品を製造販売(H26) ・定置網漁獲物の高鮮度処理(神経π等)を試行(H27) ・室戸沖合船漁業船主組合の若手船主などが近海マグロのPRを目的に「土佐室戸船重団」を結成し、高校での出前授業や加工品の開発、イベントでの試食販売等を開始(H29~) ◆関西市場を中心にキンメダイのPRを行ってきた結果、高級食料としてのキンメダイの認知度が向上し魚価の上昇につながった。 また、キンメダイの冷凍フィレが業務筋から高い評価を受けるとともに、地域グルメのキンメ丼の材料として定着し、販売額が増加した。	・定置網漁獲物の付加価値向上 ・定置網経営体の収入の安定化 ・室戸の近海マグロの付加価値向上	◆高鮮度処理魚の安定生産と販路確保 〔室戸市定置漁業振興協議会〕 ◆漁業者による加工品の製造販売 〔中芸定置網漁業振興協議会〕 〔土佐室戸船重団〕 〔義阿丸〕 ◆高鮮度を売りにした定置網漁獲物の販売促進 〔中芸定置網漁業振興協議会〕 ◆安定的な漁業生産の確保 ◆生産性向上と販路拡大

修正後

第3期計画					指標及び目標					
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)				
<p>高鮮度処理魚の安定生産と販路確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡大数での生産・出荷体制の構築 ・高鮮度処理手法のマニュアル化による安定品質の確保 ・安定出荷のための小割生養の常設 					<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの活用による高岡以外の大数組合への高鮮度処理技術の普及、定着 	<p>室戸市内の各大数組合が参画した高鮮度処理魚の生産・出荷</p>		<p>高鮮度処理魚の販売額 (H28:0千円)</p> <p>簡易加工品の販売額 (H28:0千円)</p>	<p>20,000千円</p> <p>3,000千円</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「高知家の魚応援の店」制度等の活用による県外飲食店への販路確保 ・高知県漁協販売子会社と連携した販路確保 ・室戸市内の飲食店での取扱いの働きかけと、観光商材としてのPR ・鮮魚仲卸業者等を通じた高知市内の飲食店向け販路の拡大 										
<p>漁業者による簡易な自家加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易加工品(イカ沖漬け等)の製造体制の確立 ・地域の直販所の商材やふるさと納税の返礼品としての定着 					<ul style="list-style-type: none"> ・地域外への販路拡大による販売金額の増加 ・新たな自家加工品の開発 					
<p>高鮮度を売りにした定置網漁獲物の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協販売子会社と連携した県内外への販路拡大(高知家の魚応援の店制度の活用等) ・地元直販所や高知市内における鮮魚直販イベント等の継続 										
<p>安定的な漁業生産の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物全体の価格の底上げに向けた、船上での鮮度管理(水の適正使用等)のマニュアル化と励行 ・漁獲量の増大に向けた、漁具、漁網の水中形状の調査や、調査結果を踏まえた改良 ・急潮被害の軽減に向けた学習会の開催や防災対策の実践 										
<p>生産性向上と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁獲物等を原料とした定番商品の開発とブランディング ・遠洋マグロ漁業者と連携したマグロ類の差別化商品の開発、販売 					<p>加工品販売額 (H22:0.47億円) (H28:0.8億円) ※(有)タカシン水産室戸工場</p>		<p>1.5億円</p>			



第3期計画					指標及び目標					
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)				
<p>高鮮度処理魚の安定生産と販路確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡大数での生産・出荷体制の構築 ・高鮮度処理手法のマニュアル化による安定品質の確保 ・安定出荷のための小割生養の常設 					<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの活用による高岡以外の大数組合への高鮮度処理技術の普及、定着 	<p>室戸市内の各大数組合が参画した高鮮度処理魚の生産・出荷</p>		<p>高鮮度処理魚の販売額 (H22:0千円)</p> <p>加工品の販売額 (H28:0千円)</p>	<p>20,000千円</p> <p>3,000千円</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「高知家の魚応援の店」制度等の活用による県外飲食店への販路確保 ・高知県漁協販売子会社と連携した販路確保 ・室戸市内の飲食店での取扱いの働きかけと、観光商材としてのPR ・鮮魚仲卸業者等を通じた高知市内の飲食店向け販路の拡大 										
<p>漁業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易加工品(イカ沖漬け等)の製造体制の確立 ・地域の直販所の商材やふるさと納税の返礼品としての定着 					<ul style="list-style-type: none"> ・地域外への販路拡大による販売金額の増加 ・新たな加工品の開発 					
<p>高鮮度を売りにした定置網漁獲物の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協販売子会社と連携した県内外への販路拡大(高知家の魚応援の店制度の活用等) ・地元直販所や高知市内における鮮魚直販イベント等の継続 										
<p>安定的な漁業生産の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物全体の価格の底上げに向けた、船上での鮮度管理(水の適正使用等)のマニュアル化と励行 ・漁獲量の増大に向けた、漁具、漁網の水中形状の調査や、調査結果を踏まえた改良 ・急潮被害の軽減に向けた学習会の開催や防災対策の実践 										
<p>生産性向上と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁獲物等を原料とした定番商品の開発とブランディング ・遠洋マグロ漁業者と連携したマグロ類の差別化商品の開発、販売 					<p>加工品販売額 (H22:0.47億円) (H28:0.8億円) ※(有)タカシン水産室戸工場</p>		<p>1.5億円</p>			

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 ＜奈半利町＞ ※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)	地域資源を活用した加工品をつくるために整備した施設を活用し、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。	・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・(一社)なはりの郷 ・NCL48 ・漁協女性グループ	アクションプランの取組開始:H26 【JA加工施設(奈半利味噌)】 ・産量補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入(H26) ◆「奈半利味噌」の増産体制が整備された。 【農水産加工施設(奈半利のおかつて)】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が奈半利のおかつての指定管理者となる。(H26) 【水産加工施設(加領郷魚會)】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が加領郷魚會の指定管理者となる。(H26)	・加工商品の販路拡大 ・新商品の開発及び販売体制の強化	◆商品づくり ◆運営体制の強化
28 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 《奈半利町》 ※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)	集落活動センターを拠点として、奈半利町内の生産物の増産及び新たな加工品の企画・開発を促進するとともに、ふるさと納税の取組や情報発信の強化による奈半利ブランドの確立を図ることによって、外商や交流人口を拡大し、地域のにぎわいを生み出す。	・奈半利町 ・(一社)なはりの郷	アクションプランの取組開始:H28 【運営主体の取組】 ・集落活動センターなはりの郷活性化協議会設立(H27) ・(一社)なはりの郷設立(H27) ・集落活動センターなはりの郷開所(H27) ・奈半利駅構内、旧弘道家住宅、奈半利町海浜センター、奈半利のおかつて、加領郷魚會の指定管理の開始(H28) ・奈半利駅物産館無花果の運営の開始(H28) ・通販事業の開始(H28) ・奈半利町観光推進事業の実施(H28) ・農作業受託のオペレーター受託(H28) ・農作物の生産開始(H28) 【外部人材の導入】 ・集落活動センター推進アドバイザー制度の活用(H28、センター事業の実施計画策定と実施体制の整備) ・産量確保アドバイザー制度の活用(H28、適正な会計の仕組みづくり)	・事業運営体制の構築	◆拠点整備(集落活動センターの設置) ＜地産地消・外商推進部門＞ ◆ふるさと納税制度を活用した地産外商の強化 ＜観光・移住部門＞ ◆情報の発信・交流人口の拡大 ＜社会福祉部門＞ ◆住民の集いの場、生きがいづくり ＜一次産業部門＞ ◆一次産業の振興

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大 ＜奈半利町＞ ※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)	集落活動センターが中心となり、地域食材を活用した特産品の企画・開発を促進するとともに、情報発信や販路の強化により奈半利ブランドを確立し、地域経済への波及効果の拡大を図る。	・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・(一社)なはりの郷 ・NCL48 ・漁協女性グループ	アクションプランの取組開始:H26 【JA加工施設(奈半利味噌)】 ・産量補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入(H26) ◆「奈半利味噌」の増産体制が整備された。 【農水産加工施設(奈半利のおかつて)】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が奈半利のおかつての指定管理者となる。(H28～) 【水産加工施設(加領郷魚會)】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(H28) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が加領郷魚會の指定管理者となる。(H28～) ・新商品の開発(缶詰)(H29) 【その他】 ・通販事業の開始(H28～) ・奈半利町観光推進事業の実施(H28～) ・農作業受託のオペレーター受託(H28～) ・農作物の生産開始(H28～) ・集落活動センター推進事業補助金活用(農産具や集出荷センター内農品の購入)(H29)	・事業運営体制の構築 ・加工商品の販路拡大 ・新商品の開発及び販売体制の強化	◆地産外商の強化 ◆運営体制の強化 ◆情報の発信・交流人口の拡大 ◆一次産業の振興

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
商品づくり					JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 (H28:5,140千円)	9,120千円
アドバイザーの活用等による加工商品の磨き上げ						
新商品の開発						
販売ルートの開拓						
運営体制の強化					農水産加工施設の売上高 (H28:0千円)	9,000千円
人材育成事業の実施						
なんでも市加工グループ法人化等の検討						
NCL48の運営体制の整備(法人化等の検討)						
					水産加工施設の売上高 (H28:3,220千円)	12,000千円
漁協女性グループの運営体制の整備(法人化等の検討)						
後継者の確保及び育成						
拠点整備(集落活動センターの設置)					集出荷センター取扱高 (H27.7月~H28.6月:2億円)	3億円
仕組みづくり・活動の検討						
活動の展開と見直し改善						
ふるさと納税制度を活用した地産外販の強化					集出荷センターの整備	
ふるさと納税返礼品手配事業の受託						
奈半利ブランドの確立のための商品開発、外販機能の強化及び町産品のPR等						
集出荷センターの整備						
情報の発信・交流人口の拡大					奈半利町観光推進事業の実施	
奈半利町観光推進事業の実施						
移住の促進(相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理)						
住民の集いの場、生きがいづくり					住民サロンの運営、高齢者のいきがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討	
住民サロンの運営、高齢者のいきがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討						
一次産業の振興					農機具の貸出・業受委託・新規就農者受入等の取組	
中山間農業協会経営拠点稼働に向けた運営委員会での検討						
					農作物の生産	
農作物の生産						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
地産外販の強化					JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 (H28:5,140千円)	9,120千円
ふるさと納税返礼品手配事業の受託						
新商品の開発・加工商品の磨き上げ						
販売ルートの開拓						
奈半利ブランドの確立に向けた取組(外販機能の強化・町産品のPR等)					農水産加工施設の売上高 (H28:0千円)	9,000千円
集出荷センターの整備						
通販サイトの充実・通販サイトを活用した特産品販売の強化					水産加工施設の売上高 (H28:3,220千円)	12,000千円
運営体制の強化						
人材育成事業の実施					集出荷センター取扱高 (H27.7月~H28.6月:2億円)	12億円
加工者グループの運営体制の整備(法人化等の検討)						
後継者の確保及び育成						
情報の発信・交流人口の拡大					奈半利町観光推進事業の実施	
奈半利町観光推進事業の実施						
移住の促進(相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理)						
一次産業の振興					農機具の貸出・業受委託・新規就農者受入等の取組	
中山間農業協会経営拠点稼働に向けた運営委員会での検討						
					農作物の生産	
農作物の生産						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 修正前	森林鉄道遺産(産業遺産、森の仕事、当時の生活文化等)を中芸地区の新しい地域資源(地域遺産)ととらえ、一般層の利用も視野に入れた活用に取り組み、地域連携を通して、交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会	アクションプランの取組開始:H21 ・旅行会社等によるツアーの開催(H22～) ・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21～23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23～24) ・ガイドの育成27人(H21～23) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置(H25) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の自主的な活動の充実(H25) ・東部博関連イベントとして魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展及びアート&ライブの実施(H27) ・保存活用計画策定(H27) ・日本遺産申請に向けた中芸5町村、地域団体、大学等による「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会の設立(H28) ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会による日本遺産認定申請(H28) ◆魚梁瀬森林鉄道に係る様々なイベントや研究活動等がなされており、林鉄ガイドも中芸地域の体験型観光の一つとして定着している。	・高知家まるごと東部博の成果を活かした更なる情報発信 ・5カ町村の整備・活用に向けた推進体制、仕組みづくり	◆遺産の活用と普及啓発活動 ◆保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 日本遺産を活用した中芸地域の活性化 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 修正後	日本遺産認定を受けた魚梁瀬森林鉄道遺産やゆずロード等を活用し、中芸地域の交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・中芸のゆずと魚梁瀬森林鉄道日本遺産協議会	アクションプランの取組開始:H21 ・旅行会社等によるツアーの開催(H22～) ・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21～23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23～24) ・ガイドの育成27人(H21～23) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置(H25) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の自主的な活動の充実(H25) ・東部博関連イベントとして魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展及びアート&ライブの実施(H27) ・保存活用計画策定(H27) ・日本遺産申請に向けた中芸5町村、地域団体、大学等による「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会の設立(H28) ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会による日本遺産認定申請(H28) ・日本遺産認定(H29) ・日本遺産魅力発信推進事業の実施(H29～) ◆魚梁瀬森林鉄道に係る様々なイベントや研究活動等がなされており、林鉄ガイドも中芸地域の体験型観光の一つとして定着している。また、H29には日本遺産関連の旅行商品が造成されるなど、観光地づくりが進んでいる。	・日本遺産の認知度向上 ・日本遺産魅力発信事業(国補助事業)終了後の仕組みづくり	◆日本遺産の活用と普及啓発・交流人口の拡大 ◆保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
遺産の活用と普及啓発活動					→	ツアー等による林鉄ガイド実績 (H26:846人) 拠点施設年間来館者数 (H26:0人)	1,500人 1,000人
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した拠点づくりの検討		拠点施設整備					
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組							
遺構見学ツアー等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動							
大学連携事業を契機とした全国に向けた情報発信の取組							
日本遺産認定申請に向けた取組		日本遺産認定後の活用					
保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討							
計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日本遺産の活用と普及啓発・交流人口の拡大					→	ツアー等による林鉄ガイド実績 (H26:846人) 拠点施設年間来館者数 (H26:0人)	1,500人 1,000人
日本遺産認定申請に向けた取組		日本遺産魅力発信推進事業を活用した情報発信、人材育成、普及啓発、調査研究等の事業実施		協議会の自主財源による事業実施			
地域住民等の参画促進							
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組							
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組及び拠点づくりの検討		日本遺産等を活用した拠点施設整備の検討		拠点施設整備			
魚梁瀬森林鉄道遺構見学ツアー等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動							
大学連携事業を契機とした全国に向けた情報発信の取組							
保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討							
計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進</p> <p>《安芸市》</p> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のナス産地拡大プロジェクト)</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>既存の観光資源の磨き上げや、自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの達成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・道徳 ・伊尾木あなご保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」乗会 ・道の駅大山 	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・土佐龍馬であい博での、こころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人)</p> <p>・H23.3月、安芸観光情報センターの設置</p> <p>・岩崎弥太郎像の移転(H26)</p> <p>・廊中ふるさと館の施設改修(H26)</p> <p>・安芸観光情報センターの改修(H26)</p> <p>・内原野陶芸館の改修(H26)</p> <p>・安芸「釜あげちりめん井」乗会による、ちりめん井の市内外でのPR活動やちりめん井提供店舗拡大の取組(H22~)</p> <p>◆岩崎弥太郎像の生家周辺への移転や廊中ふるさと館の改修等が行われ、観光に関連した施設等の魅力が向上した。また、H27に行われた「じやこまつ」(高知東海岸グルメまつり、おさかな祭り、安芸市産業祭と同時開催)には、2日間で延べ約3万人の来場があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの充実 ・市内での滞在時間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ◆岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上) ◆大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上 ◆新たな体験プログラムの達成 ◆既存体験プログラムのブラッシュアップ ◆地域食材を活用した商品づくり



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進</p> <p>《安芸市》</p> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のナス産地拡大プロジェクト)</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>既存の観光資源の磨き上げや、自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの達成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により地域ブランド力及び観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・道徳 ・伊尾木あなご保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」乗会 ・道の駅大山 	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・土佐龍馬であい博での、こころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人)</p> <p>・H23.3月、安芸観光情報センターの設置</p> <p>・岩崎弥太郎像の移転(H26)</p> <p>・廊中ふるさと館の施設改修(H26)</p> <p>・安芸観光情報センターの改修(H26)</p> <p>・内原野陶芸館の改修(H26)</p> <p>・安芸「釜あげちりめん井」乗会による、ちりめん井の市内外でのPR活動やちりめん井提供店舗拡大の取組(H22~)</p> <p>・道の駅大山の改修(H29)</p> <p>・伊尾木洞を核とした観光客の満足及び満足度向上のための取組開始(H29)</p> <p>◆「志願高知 幕末維新博」の取組の中で、地域会場である安芸市の歴史民俗資料館のほか、五箇家庭、岩崎弥太郎生家等歴史関連施設の整備等が実施され魅力が向上するとともに集客の増加につながった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの充実 ・市内での滞在時間の延長、観光消費額の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ◆岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上) ◆大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上 ◆地域食材を活用した地域ブランド力の向上 ◆新たな体験プログラムの達成 ◆既存体験プログラムのブラッシュアップ

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上)					→	市内年間観光客数 (H26:196,895人)	300,000人
パワースポットとしての認知度向上に向けた検討		周辺の整備 (星神社門扉、案内板、トイレ改修等)		市内年間宿泊者数 (H22~26平均値: 22,721人)		25,000人	
大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上					→	ちりめん井販売食数 (H26:40,846食)	50,000食
大山岬周辺と道の駅の施設整備の検討・実施		大山岬(恋人の聖地)の魅力発信(イベントの企画・開催)					
新たな体験プログラムの造成					→		
・シラス漁見学、果実収穫体験等の新たな体験プログラムの造成(体験プログラムについて関係者等との体制構築) ・モニターツアーの実施		体験プログラムの実施・ブラッシュアップ					
既存体験プログラムのブラッシュアップ					→		
既存体験プログラムのブラッシュアップ							
地域食材を活用した商品づくり					→		
・ナス・ユズ・土佐ジロー・シラス・マンゴーなどの地域食材を活用したメニューや商品の開発 ・メニューのPR活動(釜あげちりめん井等)							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上)					→	市内年間観光客数 (H26:196,895人)	300,000人
パワースポットとしての認知度向上に向けた検討		観光案内施設及び周辺の整備 (星神社門扉、案内ガイド係機所、案内板、トイレ改修等)		市内年間宿泊者数 (H22~26平均値: 22,721人)		25,000人	
大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上					→	ちりめん井販売食数 (H26:40,846食)	50,000食
大山岬周辺と道の駅の施設整備の検討・実施		大山岬(恋人の聖地)の魅力発信(イベントの企画・開催)					
地域食材を活用した地域ブランド力の向上					→		
・ナス・ユズ・土佐ジロー・シラス・マンゴーなどの地域食材を活用したメニューや商品の開発・磨き上げ ・メニュー・商品の販売促進・PR活動(釜あげちりめん井、安芸まるごと井等)							
ナスの消費拡大に向けた取組(道の駅大山でのナス食材のメニュー化等)の検討・実施							
安芸産土佐ジローの認知度向上と消費拡大に向けた取組の検討・実施							
安芸産土佐ジローやナス等、地域食材のプロモーション動画による情報発信							
安芸産土佐ジローの加工処理施設の検討・整備等							
新たな体験プログラムの造成					→		
・シラス漁見学、果実(ユズ等)収穫体験等の新たな体験プログラムの造成(関係者等との体制構築) ・モニターツアーの実施							
既存体験プログラムのブラッシュアップ					→		
既存体験プログラムのブラッシュアップ							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
1 ユズを中心とした中山間振興 《室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	・JA土佐あき ・JA馬路村	アクションプランの取組開始:H21 [JA土佐あき] ・新植、改植の推進への取組(H21~28) ◆県選抜系統を活用した母樹園が設置された(H22)。 ◆母樹園の優良系統樹から種木を採取し、苗木業者での育苗が開始された(H27)。 ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t、H26:3t、H27:4t)。 ◆H24から実施している消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)により、ユズのPRに繋がっている。 [JA馬路村] ・ユズ茶(H21)、化粧品(H22)及びアルミ缶対応ドリンク充填ライン(H26)の加工施設の導入 ◆加工品の販売実績が増加した。 ◆販売拡大に向けて新商品開発が進み、販売に至った(H24:シャーベット2種、ボン酢1種、H25:化粧品3種、ボン酢1種、H26:化粧品2種、調味料3種、H27:化粧品1種、清涼飲料水2種)。 ◆H18から実施している消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)により、ユズ及びユズ関連商品のPRに繋がっている。	[JA土佐あき] ・青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 [JA馬路村] ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上	◆新植、改植の推進 [JA土佐あき] ◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
1 ユズを中心とした中山間振興 《室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	・JA土佐あき ・JA馬路村	アクションプランの取組開始:H21 [JA土佐あき] ・新植、改植の推進への取組(H21~29) ◆県選抜系統を活用した母樹園が設置された(H22)。 ◆母樹園の優良系統樹から種木を採取し、苗木業者で育苗された苗木が産地内で定植され始めた。(H29)。 ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t、H26:3t、H27:4t、H28:4t、H29:8t)。 ◆H24から実施している消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)により、ユズのPRに繋がっている。 [JA馬路村] ・ユズ茶(H21)、化粧品(H22)、アルミ缶対応ドリンク充填ライン(H26)及びびぼん酢・ドレッシング・化粧品充填ライン等の加工施設の導入 ・海外催事への参加(H29) ◆加工品の販売実績が増加した。 ◆販売拡大に向けて新商品開発が進み、販売に至った(H24:シャーベット2種、ボン酢1種、H25:化粧品3種、ボン酢1種、H26:化粧品2種、調味料3種、H27:化粧品1種、清涼飲料水2種)。 ◆H18から実施している消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)により、ユズ及びユズ関連商品のPRに繋がっている。	[JA土佐あき] ・青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 [JA馬路村] ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上	◆新植、改植の推進 [JA土佐あき] ◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
新植、改植の推進(青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化)					青果出荷受入量(1月～12月) (H22:297t) (H23:370t) (H25:398t) (H26:449t)	500t
検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底						
産地内の母樹を活用した苗木確保		産地内の母樹苗木を活用した計画的な新植・改植の推進				
ユズを活用した中山間振興策の検討						
ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓					JA土佐あき 加工仕向量(1月～12月) (H22:4,250t) (H26:4,489t)	5,000t
[JA土佐あき] ・栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大と隔年結果の是正による果汁の安定供給 ・大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 ・果汁一元化販売の取組による安定した果汁単価の維持 ・ユズ協事業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出版売の拡大(シンガポール、北米、EU等)						
[JA馬路村] 各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組					JA馬路村 加工品販売額(1月～12月) (H21:21億円) (H26:32億円)	36億円
加工施設の検討		加工施設の整備				
↓						

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
新植、改植の推進(青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化)					青果出荷受入量(1月～12月) (H22:297t) (H23:370t) (H25:398t) (H26:449t)	500t
検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底						
産地内の母樹を活用した苗木確保		産地内の母樹苗木を活用した計画的な新植・改植の推進				
ユズを活用した中山間振興策の検討						
ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓					JA土佐あき 加工仕向量(1月～12月) (H22:4,250t) (H26:4,489t)	5,000t
[JA土佐あき] ・栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大と隔年結果の是正による果汁の安定供給 ・大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 ・果汁一元化販売の取組による安定した果汁単価の維持 ・ユズ協事業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出版売の拡大(シンガポール、北米、EU等)						
[JA馬路村] 各施設を活用した消費者ニーズに応じた加工品生産及び開発 ・国内外でのイベントへの参加やアンテナショップの活用による販路拡大の取組					JA馬路村 加工品販売額(1月～12月) (H21:21億円) (H26:32億円)	36億円
加工施設の検討		加工施設の整備				

修正項目(案)


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興 《東洋町》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	東洋町の特産品であるポンカンを活用した加工品の開発をすすめるとともに、移住・定住の促進による後継者の確保に取り組むことにより地域振興を図る。	・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町	<p>アクションプランの取組開始:H24</p> <p>・ポンカンを活用した商品の開発(H22)</p> <p>・ポンカンドリンクのテラシ作成(H24)</p> <p>・関西方面での営業活動(H24～28)</p> <p>◆業務用酒販や飲食店などの新規取引が成立し、既存商品の販路拡大は徐々に進んできた。</p> <p>販売数</p> <p>【H22】1,807本 (ドリンク1,112、ドレッシング695)</p> <p>【H23】1,764本 (ドリンク1,239、ドレッシング525)</p> <p>【H24】2,602本 (ドリンク2,133、ドレッシング469)</p> <p>【H25】2,454本 (ドリンク2,122、ドレッシング332)</p> <p>【H26】3,584本 (ドリンク2,520、ドレッシング1,064)</p>	<p>・ポンカンを活用した新商品開発と販路拡大</p> <p>・後継者の確保</p>	<p>◆ポンカン加工品の新商品開発と販路拡大</p> <p>◆後継者の確保</p>



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興 《東洋町》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	東洋町の特産品であるポンカンを活用した加工品の開発をすすめるとともに、移住・定住の促進による後継者の確保に取り組むことにより地域振興を図る。	・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町	<p>アクションプランの取組開始:H24</p> <p>・ポンカンを活用した商品の開発(H22)</p> <p>・ポンカンドリンクのテラシ作成(H24)</p> <p>・関西方面での営業活動(H24～)</p> <p>◆業務用酒販や飲食店などの新規取引が成立し、既存商品の販路拡大は徐々に進んできた。</p> <p>販売数</p> <p>【H22】1,807本 (ドリンク1,112、ドレッシング695)</p> <p>【H23】1,764本 (ドリンク1,239、ドレッシング525)</p> <p>【H24】2,602本 (ドリンク2,133、ドレッシング469)</p> <p>【H25】2,454本 (ドリンク2,122、ドレッシング332)</p> <p>【H26】3,584本 (ドリンク2,520、ドレッシング1,064)</p> <p>【H27】3,250本 (ドリンク2,468、ドレッシング782)</p> <p>【H28】2,567本 (ドリンク2,024、ドレッシング543)</p>	<p>・ポンカンを活用した新商品開発と販路拡大</p> <p>・後継者の確保</p>	<p>◆ポンカン加工品の新商品開発と販路拡大</p> <p>◆後継者の確保</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>ポンカン加工品の新商品開発と販路拡大</p> <p>新規加工グループの掘り起こし</p> <p>既存商品の磨き上げ</p> <p>新商品の検討</p> <p>試作品の作成</p> <p>新商品の販売</p> <p>販売促進活動</p>					<p>商品数 (H22 2アイテム) (H26 2アイテム)</p> <p>既存商品の販売数(1 月～12月) (H22:1,807本) (H26:3,584本)</p>	<p>4アイテム(累計)</p> <p>5,000本</p>	
<p>後継者の確保</p> <p>移住・定住の促進による後継者の確保</p> <p>新規就農者の支援</p>							
							

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>ポンカン加工品の新商品開発と販路拡大</p> <p>新規加工グループの掘り起こし</p> <p>既存商品の磨き上げ</p> <p>新商品の検討・開発・販売</p> <p>販売促進活動</p>					<p>商品数 (H22 2アイテム) (H26 2アイテム)</p> <p>既存商品の販売数(1 月～12月) (H22:1,807本) (H26:3,584本)</p>	<p>4アイテム(累計)</p> <p>5,000本</p>	
<p>後継者の確保</p> <p>移住・定住の促進による後継者の確保</p> <p>新規就農者の支援</p>							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進 《安田町》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>安田町内の地域資源を活かした6次産業化事業を実施し、新商品開発・販路開拓・拡大生産に取り組み、地産外商を推進する。 また、マンゴー大福「安田の白い夢」の販路拡大に向け、大都市圏を中心とした販売促進活動に取り組む。 これらの取組により安定かつ継続した雇用の創出を目指す。</p>	<p>・安田町 ・生産者 ・製造販売者</p>	<p>アクションプランの取組開始:H24 ・製造販売拠点「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』施設整備(H23)、開業(H24) ・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24) ・JAL 麗か四国キャンペーンとのタイアップ(H25) ・県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月) ・まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24) ・まるごと高知での安田町フェアの実施(H26) ◆ニッポン全国物産展ご当地おやつランキング5位入賞(H25)、2位受賞(H27) ・東部博関連イベント等での販売活動の実施(H27) ・年間製造量:34,000個(H26)38,700個(H27) ◆H24に「安田と夢ファクトリー『キララ』を整備し、生産販売拠点ができ、一定雇用は確保しているが、大都市圏での安定した販路の確保には至っていない。</p>	<p>・6次産業化のための加工に適した作物の選定 ・6次産業化の担い手となる人材の確保 ・導入した製造機械での「安田の白い夢」の本格生産に向けた新たな販路開拓 ・「安田の白い夢」の認知度向上に向けた販売促進活動の継続した取組</p>	<p>◆地域資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p style="text-align: right;">◆「安田の白い夢」の販路の開拓</p>



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進 《安田町》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>安田町内の地域資源を活かした6次産業化事業を実施し、新商品開発・販路開拓・拡大生産に取り組み、地産外商を推進する。 また、マンゴー大福「安田の白い夢」の販路拡大に向け、大都市圏を中心とした販売促進活動に取り組む。 これらの取組により安定かつ継続した雇用の創出を目指す。</p>	<p>・安田町 ・生産者 ・製造販売者</p>	<p>アクションプランの取組開始:H24 ・製造販売拠点「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』施設整備(H23)、開業(H24) ・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24) ・JAL 麗か四国キャンペーンとのタイアップ(H25) ・県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月) ・まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24) ・まるごと高知での安田町フェアの実施(H26) ◆ニッポン全国物産展ご当地おやつランキング5位入賞(H25)、2位受賞(H27) ・東部博関連イベント等での販売活動の実施(H27) ・年間製造量:34,000個(H26)38,700個(H27)47,300個(H28) ◆H24に「安田と夢ファクトリー『キララ』を整備し、生産販売拠点ができ、一定雇用は確保しているが、大都市圏での安定した販路の確保には至っていない。</p>	<p>・6次産業化のための加工に適した作物の選定 ・6次産業化の担い手となる人材の確保 ・導入した製造機械での「安田の白い夢」の本格生産に向けた新たな販路開拓 ・「安田の白い夢」の認知度向上に向けた販売促進活動の継続した取組</p>	<p>◆地域資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p style="text-align: right;">◆「安田の白い夢」の販路の開拓</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活かした6次産業化事業の推進					→	起業家創出 企業誘致	1社 1企業
戦略構想計画の策定							
加工に適した作物の選定							
地域資源を活かした新たな加工品の開発、市場調査、販路開拓							
加工施設整備							
原料増産に向けた取組							
起業家創出、企業誘致に向けた取組							
「安田の白い夢」の販路の開拓					→		
大都市圏を中心とした営業活動の展開による販路の確保							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活かした6次産業化事業の推進					→	起業家創出 企業誘致	1社 1企業
戦略構想計画の策定							
加工に適した作物の選定							
地域資源を活かした新たな加工品の開発、市場調査、販路開拓							
加工施設整備の検討							
原料増産に向けた取組							
起業家創出、企業誘致に向けた取組							
「安田の白い夢」の販路の開拓					→		
大都市圏を中心とした営業活動の展開による販路の確保							

修正項目(案)


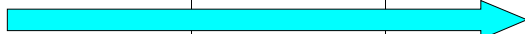


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 《室戸市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	新たに整備された加工施設を活用し、地域産品を使った商品を開発するとともに、商品の充実や販売を促進することにより、地産地消・外商の拡大と生産者の所得向上を図る。	・室戸市 ・協同キラメッセ室戸(有)	アクションプランの取組開始:H25 ・基本構想・基本計画の策定(H25) ・加工施設の整備及び駐車場の造成、トイレの改修(H26~27) ◆加工施設の整備及び駐車場の造成、トイレの改修により、道の駅キラメッセ室戸の機能が一体的に強化された。また、加工施設の整備に合わせて、新たな加工品の開発等、来場者の増加や満足度の向上に向けた取組が進んでいる。	・出荷作業スペースの確保 ・夏場の生鮮品不足 ・農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下	◆施設整備 ◆農業の6次産業化の推進 ◆販路拡大と集荷体制の整備 ◆県外の道の駅等との連携


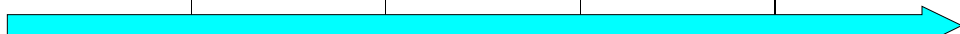
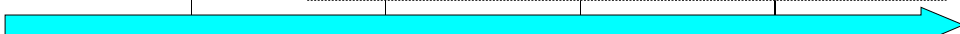
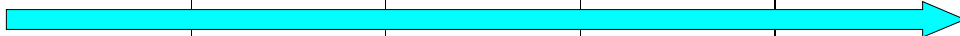


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 《室戸市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	新たに整備された加工施設を活用し、地域産品を使った商品を開発するとともに、商品の充実や販売を促進することにより、地産地消・外商の拡大と生産者の所得向上を図る。	・室戸市 ・協同キラメッセ室戸(有)	アクションプランの取組開始:H25 ・基本構想・基本計画の策定(H25) ・加工施設の整備及び駐車場の造成、トイレの改修(H26~27) ◆加工施設の整備及び駐車場の造成、トイレの改修により、道の駅キラメッセ室戸の機能が一体的に強化された。また、加工施設の整備に合わせて、新たな加工品の開発等、来場者の増加や満足度の向上に向けた取組が進んでいる。 <u>・農業複合経営拠点化に向けて、ワークショップの開催等により将来のビジョンを策定するとともに、乗りこえづくりや動線の見直しを検討中(H29~)</u>	・出荷作業スペースの確保 ・夏場の生鮮品不足 ・農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下	◆施設整備 ◆農業の6次産業化の推進 ◆販路拡大と集荷体制の整備 ◆県外の道の駅等との連携

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						売上高 (H26:308,334千円) 来場者数 (H23:244,968人) (H26:230,887人)	370,000千円 260,000人
施設整備 全体構想の協議	施設整備の検討	検討による整備					
							
農業の6次産業化の推進 法人による農業経営に向けた方向性の確認	組織・人員体制の検討 生産品目の検討	農地の選定・準備 加工品の開発・試作					
							
販路拡大と集荷体制の整備 持続可能な集荷システムの検討		販路拡大 集荷の試行・実施					
							
県外の道の駅等との連携 連携先の検討		連携内容の検討・実施					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						売上高 (H26:308,334千円) 来場者数 (H23:244,968人) (H26:230,887人)	370,000千円 260,000人
施設整備 全体構想の協議	施設整備の検討	施設整備の実施					
							
農業の6次産業化の推進 法人による農業経営に向けた方向性の確認	組織・人員体制の検討 生産品目の検討	農地の選定・準備・農作物の栽培 加工品の開発・試作					
							
販路拡大と集荷体制の整備 持続可能な集荷システムの検討		販路拡大 集荷の試行・実施					
							
県外の道の駅等との連携 連携先の検討		連携内容の検討・実施					

修正項目(案)


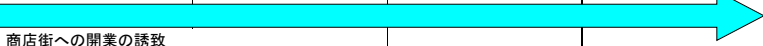
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化 《安芸市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	「全国商い甲子園」の開催や、チャレンジショップ、中山間の移動販売などの取組を進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。	・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市	アクションプランの取組開始：H29		◆商店街を中心とする地域の活性化 ◆商店街への開業の誘致


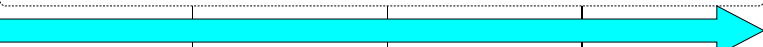


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化 《安芸市》 <div style="background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	「全国商い甲子園」の開催や、チャレンジショップ、中山間の移動販売などの取組を進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。	・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市	アクションプランの取組開始：H29 ・「全国商い甲子園大会」開催(H29～) ・産業振興アドバイザー活用によるワークショップの開催(H29) ◆ワークショップにおいて、空き店舗の活用や新規開業者の募集に向けて関係者協議の継続を決定するなど、商店街の活性化に向けて関係者の当事者意識が醸成された。(H29)	・店舗数の減少	◆商店街を中心とする地域の活性化 ◆商店街への開業の誘致

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					空き店舗等を活用した 新規開業 (H28:0件)	3件(H29~31累計)	
	商店街を中心とする地域の活性化 「全国 商い甲子園」等の既存イベントの拡充や情報発信の強化						
	他の団体や学校との連携によるイベントの企画・実施						
	観光資源を活用した観光客の誘致						
							
	商店街への開業の誘致 空き店舗の状況調査、移住対策と連動した空き店舗情報の発信						
	チャレンジショップの取組						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					空き店舗等を活用した 新規開業 (H28:0件)	3件(H29~31累計)	
	商店街を中心とする地域の活性化 「全国 商い甲子園」等の既存イベントの拡充や情報発信の強化						
	他の団体や学校との連携によるイベントの企画・実施						
	観光資源を活用した観光客の誘致						
							
	商店街への開業の誘致 空き店舗の状況調査、移住対策と連動した空き店舗情報の発信						
	チャレンジショップの取組	空き店舗を活用するための意見交換会の開催と活用策の実施					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 《東洋町》	高知県の東の玄関口である東洋町の観光拠点施設および地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」により地域の活性化を図る。	・東洋町 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始:H21 ・H20.1月、海の駅東洋町(木造平屋建、171㎡)開設 ・H24.7月の火災による焼失のため、産業振興総合補助金を活用しH25.12月再建(木造平屋建、267㎡) ・H26.1月から運営再開 ◆順調に売り上げを伸ばしている。 売上高 H27:161,151千円 来場者 H27:174,122人 ・教育旅行の受入(H28:1回) ・直販所支援アドバイザー派遣制度の活用(H28、接客マナーとPOP作成研修)	・運営体制の強化 ・地域産品を活用した加工品の確保 ・観光拠点機能の強化	◆運営体制の強化 ◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 《東洋町》	高知県の東の玄関口である東洋町の観光拠点施設および地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」により地域の活性化を図る。	・東洋町 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始:H21 ・H20.1月、海の駅東洋町(木造平屋建、171㎡)開設 ・H24.7月の火災による焼失のため、産業振興総合補助金を活用しH25.12月再建(木造平屋建、267㎡) ・H26.1月から運営再開 ◆順調に売り上げを伸ばしている。 売上高 H27:161,151千円 H28:177,031千円 来場者 H27:174,122人 H28:189,747人 ・教育旅行の受入(H28:1回,H29:2回) ・直販所支援アドバイザー派遣制度の活用(H28、接客マナーとPOP作成研修)	・運営体制の強化 ・地域産品を活用した加工品の確保 ・観光拠点機能の強化	◆運営体制の強化 ◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H22:133,765千円) (H26:141,938千円)	168,990千円	
運営体制の強化 出品者勉強会の開催、従業員研修の実施 責任者の配置							来場者数 (H22:153,446人) (H26:157,790人)
							
地域特産品を活用した加工品の開発・販売 加工品の開発・販売による地産外商							
加工施設の整備に向けた検討		加工施設の整備					
ネット販売の検討		ネット販売の実施					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H22:133,765千円) (H26:141,938千円)	168,990千円	
運営体制の強化 出品者勉強会の開催、従業員研修の実施 責任者の配置							来場者数 (H22:153,446人) (H26:157,790人)
							
地域特産品を活用した加工品の開発・販売 加工品の開発・販売による地産外商							
加工施設の整備に向けた検討			加工施設の整備				
ネット販売の検討		ネット販売の実施					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓 《東洋町》	有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、ジビエ振興による地域の活性化を図る。	・(株)熊谷ファーム ・(株)マルキョウ	アクションプランの取組開始:H28 ・町の補助金を活用し販促ツール等の作成(H28)		◆加工施設の整備 ◆商品開発と販路拡大
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓 《東洋町》	有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、ジビエ振興による地域の活性化を図る。	・(株)熊谷ファーム ・(株)マルキョウ	アクションプランの取組開始:H28 ・町の補助金を活用し販促ツール等の作成(H28)	・運営体制の確立 ・新商品の開発 ・販路の開拓	◆加工施設の整備 ◆商品開発と販路拡大
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
加工施設の整備					加工体制の強化	売上高 (H26:0千円)	20,000千円
施設整備の検討・整備							
原料確保の強化							
商品開発と販路拡大					商品のブラッシュアップ		
新商品開発							
販促ツールの作成							
販路開拓とブランド化に向けた取組							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
加工施設の整備					加工体制・設備の強化	売上高 (H26:0千円)	20,000千円
施設整備の検討・整備							
原料確保の強化							
商品開発と販路拡大					商品のブラッシュアップ		
新商品開発・商品のブラッシュアップ							
販促ツールの作成・販路開拓							
ブランド化に向けた取組							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や旅行商品開発に取り組み交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~27) ・ガイド養成講座等の実施(H21~27) ・世界ジオパーク認証(H23) ・日本ジオパーク全国大会の開催(H24) ・室戸世界ジオパークセンターの整備(H25~26) ・室戸世界ジオパークセンターオープン(H27) ・世界ジオパーク再認定(H27) ◆日本ジオパーク全国大会(参加者:約2,200人)を開催し、宿泊・食事利用等の経済効果や地域住民との連携が図られるとともに、室戸ジオパークの理解が促進された。 また、ジオパークの拠点となる「室戸世界ジオパークセンター」の整備により、受入体制が強化された。 ジオパークガイド利用者数 H27:15,868人 室戸世界ジオパークセンター来場者数 H27:103,065人 ・観光アドバイザーによる館内ガイド接遇研修実施(H28) ・土佐の観光創生塾に参加(H27:5人)	・受入体制の強化 ・ジオパークセンターの整備 ・ジオサイトの見直し	◆ガイド育成 ◆ジオツアー・体験プログラムの推進 ◆情報発信、国際交流 ◆ジオパークセンターの整備 ◆サイト整備

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や旅行商品開発に取り組み交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~27) ・ガイド養成講座等の実施(H21~27) ・世界ジオパーク認証(H23) ・日本ジオパーク全国大会の開催(H24) ・室戸世界ジオパークセンターの整備(H25~26) ・室戸世界ジオパークセンターオープン(H27) ・世界ジオパーク再認定(H27) ・土佐の観光創生塾に参加(H27:5人) ・観光アドバイザーによる館内ガイド接遇研修実施(H28) ・室戸世界ジオパークセンター施設の新築(H28:観覧体験コーナーの設置、H29:体験体験コーナーの拡充(2面→3面化)等) ・室戸ジオパークガイドスキルアップ研修(H28) ◆日本ジオパーク全国大会(参加者:約2,200人)を開催し、宿泊・食事利用等の経済効果や地域住民との連携が図られるとともに、室戸ジオパークの理解が促進された。 また、ジオパークの拠点となる「室戸世界ジオパークセンター」の整備により、受入体制が強化された。 ジオパークガイド利用者数 H27:15,868人 H28:7,078人 ・室戸世界ジオパークセンター来場者数 H27:103,065人 H28:76,629人	・受入体制の強化 ・ジオパークセンターの整備 ・ジオサイトの見直し	◆ガイド育成 ◆ジオツアー・体験プログラムの推進 ◆情報発信、国際交流 ◆ジオパークセンターの整備 ◆サイト整備

修正後

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
ガイド育成					→	ジオパークガイド利用者数 (H28: 7,889人)	10,000人
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成)							
ジオツアー・体験プログラムの推進					→	室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H28: 0人)	70,000人
既存ジオツアー・体験プログラムのブラッシュアップ							
ジオツアー・体験プログラムの開発・実施							
ジオパークセンターを発着地としたジオツアーの開発					→		
情報発信、国際交流							
日本ジオパーク再審査							
世界ジオパーク再審査							
全国大会及び国際会議でのPR・イベントの開催					→		
主要パンフレット等の更新・多言語化							
ジオパークセンターの整備					→		
遊休地の利活用検討・整備							
体育館・プールの利活用検討							
体育館・プールの整備							
展示内容のリニューアル					→		
サイト整備							
既存ジオサイトの見直し・新規ジオサイトの検討					→		
ジオサイトの再整備							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
ガイド育成					→	ジオパークガイド利用者数 (H28: 7,889人)	10,000人
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成)							
ジオツアー・体験プログラムの推進					→	室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H28: 0人)	70,000人
既存ジオツアー・体験プログラムのブラッシュアップ							
ジオツアー・体験プログラムの開発・実施							
ジオパークセンターを発着地としたジオツアーの開発					→		
情報発信、国際交流							
日本ジオパーク再審査							
世界ジオパーク再審査							
全国大会及び国際会議でのPR・イベントの開催					→		
主要パンフレット等の更新・多言語化							
ジオパークセンターの整備					→		
遊休地の利活用検討・整備							
体育館・プールの利活用検討							
体育館・プールの整備							
展示内容のリニューアル					→		
サイト整備							
既存ジオサイトの見直し・新規ジオサイトの検討					→		
ジオサイトの再整備							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 《室戸市》	室戸岬漁港(新港)の「海の駅とろむ」を核として、マリトレジャーや体験プログラムの充実による交流人口の拡大を図る。	・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社)うみ路 ・室戸市	アクションプランの取組開始:H21 ・施設・設備等(ウエットスーツ、浮き桟橋、倉庫、屋外看板)の充実(H21~23) ・広告宣伝の強化(H21~23) ・体験プログラムの見直し(H22~23) ・陸上施設の建築及び陸上プール(直径10m、水深5m)の整備(H24) ・補助プールの整備(H25) ◆高額プログラムのドルフィンスイムの参加者が大幅に増加した。(H20:1,204人→H26:1,464人) また、設備等の充実や物販・休憩スペースの確保により、来場者の満足度の向上、事業収入の増加につながった。	・より多くの集客を図るための広報・営業の検討 ・とろむ内の全施設と連携した集客 ・ダイビング事業展開のための事業推進体制の整備	◆室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 ◆室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 ◆「貝類等収穫体験」の施設整備 ◆ダイビング事業展開に向けた施設整備等
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 《室戸市》	室戸岬漁港(新港)の「海の駅とろむ」を核として、マリトレジャーや体験プログラムの充実による交流人口の拡大を図る。	・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社)うみ路 ・室戸市	アクションプランの取組開始:H21 ・施設・設備等(ウエットスーツ、浮き桟橋、倉庫、屋外看板)の充実(H21~23) ・広告宣伝の強化(H21~23) ・体験プログラムの見直し(H22~23) ・陸上施設の建築及び陸上プール(直径10m、水深5m)の整備(H24) ・補助プールの整備(H25) ◆高額プログラムのドルフィンスイムの参加者が大幅に増加した。(H20:1,204人→H26:1,464人) また、設備等の充実や物販・休憩スペースの確保により、来場者の満足度の向上、事業収入の増加につながった。 <u>・スジアオリ養殖施設の整備(H29)</u>	・より多くの集客を図るための広報・営業の検討 ・とろむ内の全施設と連携した集客 ・ダイビング事業展開のための事業推進体制の整備	◆室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 ◆室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 ◆「貝類等収穫体験」の施設整備 ◆ダイビング事業展開に向けた施設整備等
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 体制強化と人材育成 新規プログラムの開発 オリジナルグッズの開発 施設の磨き上げ ところむ内全施設が連携した情報発信					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22:22,181人) (H26:24,431人)	31,000人
室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 教育旅行の受入 魅力ある店舗づくりと広報・宣伝活動						
「貝類等収穫体験」の施設整備 施設整備に向けた検討 施設整備 規模拡大に向けた検討 体験プログラムの実施と広報・宣伝活動						
ダイビング事業展開に向けた施設整備等 施設整備の検討 施設整備 関係者との調整 テナント募集・広報 運営体制の検討 ダイビング事業実施 ダイビングショップへの情報発信(ダイビングスポット)						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 体制強化と人材育成 新規プログラムの開発 オリジナルグッズの開発 施設の磨き上げ ところむ内全施設が連携した情報発信					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22:22,181人) (H26:24,431人)	31,000人
室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 教育旅行の受入 魅力ある店舗づくりと広報・宣伝活動						
「貝類等収穫体験」の施設整備 施設整備に向けた検討 施設整備 規模拡大に向けた検討 体験プログラムの実施と広報・宣伝活動						
ダイビング事業展開に向けた施設整備等 ・施設整備の検討 ・関係者との調整 ・運営体制の検討 ・施設整備 ・テナント募集 ・広報 ・ダイビング事業実施 ・ダイビングショップへの情報発信(ダイビングスポット)						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進 《東洋町》	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。	・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・宿泊事業者 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始:H25 ・高知県観光拠点整備事業費補助金を活用し、白浜キャンプ場炊事場を整備(H26) ・地域おこし協力隊(観光)1人着任(H26) ◆整備対象施設の現況調査により、課題が明確化され、今後の取組の方針決定につながった。 ・体験プログラムの開発(H26～) ・こけら祭りの開催(H26～) ・産業振興アドバイザー制度の活用(東洋町観光振興協会の課題整理と人材育成など:3回) ・こうちカメラ女子旅in東洋町モニターツアーの実施(1回) ・教育旅行の受入(H28:1回) ・観光アプリの提供開始(H28)	・地域資源を活かした体験プログラムの開発 ・地元事業者(サーフショップ等)との協調 ・受入施設の整備	◆海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 ◆東洋町観光振興協会の体制強化 ◆誘客の促進 ◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進 《東洋町》	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。	・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・宿泊事業者 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始:H25 ・高知県観光拠点整備事業費補助金を活用し、白浜キャンプ場炊事場を整備(H26) ・地域おこし協力隊(観光)1人着任(H26) ◆整備対象施設の現況調査により、課題が明確化され、今後の取組の方針決定につながった。 ・体験プログラムの開発(H26～) ・こけら祭りの開催(H26～) ・産業振興アドバイザー制度の活用(東洋町観光振興協会の課題整理と人材育成など:3回) ・こうちカメラ女子旅in東洋町モニターツアーの実施(1回) ・教育旅行の受入(H28:1回、H29:4回) ・観光アプリの提供開始(H28) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H29、地域資源の活用) ・女子旅モニターツアー「兼・trip TOYO 2017」の実施(H29)	・地域資源を活かした体験プログラムの開発 ・地元事業者(サーフショップ等)との協調 ・受入施設の整備	◆海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 ◆東洋町観光振興協会の体制強化 ◆誘客の促進 ◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">海の駅の観光案内窓口の強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">体験プログラムの磨き上げと開発およびガイド育成</div>					体験者数 (H27:0人)	5,000人
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東洋町観光振興協会の体制強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">法人化と事務局体制強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">人材育成</div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">誘客の促進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">農林漁家民泊の推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">魅力的な観光地域づくり、観光情報の発信・プロモーション</div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">アンケート調査</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 60px; margin-top: 10px;">整備内容の検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 120px; margin-top: 10px;">施設と備品の整備</div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">施設と備品の整備</div>						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">海の駅の観光案内窓口の強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">体験プログラムの磨き上げと開発およびガイド育成</div>					体験者数 (H27:0人)	5,000人
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東洋町観光振興協会の体制強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">法人化と事務局体制強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">人材育成</div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">誘客の促進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">農林漁家民泊の推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">魅力的な観光地域づくり、観光情報の発信・プロモーション</div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 20px;">アンケート調査</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 60px; margin-top: 10px;">整備内容の検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 120px; margin-top: 10px;">施設と備品の整備</div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px; margin-top: 10px;">施設と備品の整備</div>						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 北川村観光3施設の勝客強化による交流人口の拡大 (北川村)	北川村温泉、北川村「モネの庭」マルモッタ及び中間慎太郎関連施設の北川村観光3施設で実施するイベントの開催に関する広告宣伝や営業活動の強化等に取り組むことにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。	・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・NPO法人中間慎太郎先生顕彰会	アクションプランの取組開始:H23 【北川村「モネの庭」マルモッタ】 ・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22~23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23~) ・庭園整備(H22、H23) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25~) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、飲食施設の再建、魅力向上) ・モネの庭レストラン改修(H28) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2~H22.1 60,040人 H22.2~H23.1 53,369人 H23.2~H24.1 59,101人 H24.2~H25.1 55,288人 H25.2~H26.1 56,281人 H26.2~H27.1 54,115人 H27.2~H28.1 68,533人 H28.2~H28.11 57,247人 【北川村温泉】 ・北川村温泉リニューアル基本計画策定(H25) ・基本設計及び実施設計(H26) ・北川村温泉改修工事のため閉館(H27.8月~) 【中間慎太郎関連施設】 ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、観光ガイドやイベント企画など)	・東部博覧を終了させた勝客対策の強化 ・県外での認知度の向上 ・外国人観光客の受入態勢の強化 ・3施設の連携強化	◆3施設のターゲットに応じたプロモーション活動 ◆3施設の連携強化、各施設の磨き上げ ◆温泉施設の整備及び利活用

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 北川村観光3施設の勝客強化による交流人口の拡大 (北川村)	北川村温泉、北川村「モネの庭」マルモッタ及び中間慎太郎関連施設の北川村観光3施設で実施するイベントの開催に関する広告宣伝や営業活動の強化等に取り組むことにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。	・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・NPO法人中間慎太郎先生顕彰会	アクションプランの取組開始:H23 【北川村「モネの庭」マルモッタ】 ・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22~23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23~) ・庭園整備(H22、H23) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25~) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、飲食施設の再建、魅力向上、H29:カフェ等スタッフの人材育成) ・モネの庭レストラン改修(H28) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2~H22.1 60,040人 H22.2~H23.1 53,369人 H23.2~H24.1 59,101人 H24.2~H25.1 55,288人 H25.2~H26.1 56,281人 H26.2~H27.1 54,115人 H27.2~H28.1 68,533人 H28.2~H29.1 63,377人 H29.2~H29.11 70,702人 【北川村温泉】 ・北川村温泉リニューアル基本計画策定(H25) ・基本設計及び実施設計(H26) ・北川村温泉改修工事のため閉館(H27.8月~) 【中間慎太郎関連施設】 ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、観光ガイドやイベント企画など)	・東部博覧を終了させた勝客対策の強化 ・県外での認知度の向上 ・外国人観光客の受入態勢の強化 ・3施設の連携強化	◆3施設のターゲットに応じたプロモーション活動 ◆3施設の連携強化、各施設の磨き上げ ◆温泉施設の整備及び利活用

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
3施設のターゲットに応じたプロモーション活動 ターゲット(エリア別、属性、季節別)に応じたプロモーション方法の検討 ターゲット別プロモーション活動の展開 (マスコミ、タウン誌、ロコミ、SNS、ブロガー、レストランなどの活用)					各施設入園(館)者合計数 (H26:80,983人) ※内訳 モネの庭 53,174人 (H26.4~H27.3) 北川村温泉 21,682人 中岡慎太郎館 6,127人	108,000人 ※内訳 モネの庭 70,000人 北川村温泉 28,000人 中岡慎太郎館 10,000人	
3施設の連携強化、各施設の磨き上げ 3施設の周遊の仕組みづくりの検討 (周遊マップの作成、レンタサイクル、スタンプラリー等「志園高知 幕末維新博」と連携したイベントの開催) 3施設の周遊の仕組みの実践と磨き上げ (実施→課題の洗い出し→磨き上げ) モネ開園20周年に向けたPR施策づくり モネ開園20周年イベントの開催(H32) 外国人観光客受入促進のための施設整備等 (Wi-Fi整備、多言語看板の整備等)							
温泉施設の整備及び利活用 実施設計 施設の整備 集客に向けた取組 (リニューアルオープン告知、パンフレットの作成、施設周辺での体験プログラムの提供など)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
3施設のターゲットに応じたプロモーション活動 ターゲット(エリア別、属性、季節別)に応じたプロモーション方法の検討 ターゲット別プロモーション活動の展開 (マスコミ、タウン誌、ロコミ、SNS、ブロガー、レストランなどの活用)					各施設入園(館)者合計数 (H26:80,983人) ※内訳 モネの庭 53,174人 (H26.4~H27.3) 北川村温泉 21,682人 中岡慎太郎館 6,127人	108,000人 ※内訳 モネの庭 70,000人 北川村温泉 28,000人 中岡慎太郎館 10,000人	
3施設の連携強化、各施設の磨き上げ 3施設の周遊の仕組みづくりの検討 (周遊マップの作成、レンタサイクル、スタンプラリー等「志園高知 幕末維新博」と連携したイベントの開催) 3施設の周遊の仕組みの実践と磨き上げ (実施→課題の洗い出し→磨き上げ) モネ開園20周年に向けたPR モネ開園20周年イベントの開催 外国人観光客受入促進のための施設整備等 (Wi-Fi整備、多言語看板の整備等)							
温泉施設の整備及び利活用 実施設計 施設の整備 営業再開 集客に向けた取組 (リニューアルオープン告知、パンフレットの作成、施設周辺での体験プログラムの提供など)							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 旧椎名小学校を活用した地域振興 《室戸市》	旧椎名小学校の改修にあわせてミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースなどを整備するとともに、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図るため集落活動センター設置に向けて取り組む。	・室戸市 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大数組合 ・民間事業者	アクションプランの取組開始:H27 ・椎名小学校活用検討委員会(H27,3回) ・地元説明会(H27) ・地域住民との先進地視察(H28) ・地区住民によるワークショップ(H28)	・施設の利活用及び運営体制の検討 ・ウミガメ協議会や椎名大数組合との連携 ・住民の組織づくり ・外部人材の活用	◆施設整備 ◆集落活動センターの設置 ◆情報発信

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 旧椎名小学校を活用した地域振興 《室戸市》	旧椎名小学校の改修にあわせてミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースなどを整備するとともに、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図るため集落活動センター設置に向けて取り組む。	・室戸市 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大数組合 ・民間事業者	アクションプランの取組開始:H27 ・椎名小学校活用検討委員会(H27,3回) ・地元説明会(H27) ・地域住民との先進地視察(H28～29) ・地区住民によるワークショップ(H28) ・集落支援員1名の雇用開始(H29) ・施設改修工事完了(H29)	・施設の利活用及び運営体制の検討 ・ウミガメ協議会や椎名大数組合との連携 ・住民の組織づくり ・外部人材の活用	◆施設整備 ◆集落活動センターの設置 ◆情報発信

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 北川村中部地区の活性化プロジェクト (北川村)	北川村中部地区の集落活動の展開と北川村温泉の改修を契機とした誘客の強化により、交流人口を拡大することで、中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	・アクションプランの取組開始：H26 ・地場産品を販売する温泉直販市の設置(H25～) ・休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26～) ・温泉レストランでの地元産品の活用(H26) ・地域食材を活かしたイベントの開催(H26)	・地域住民の高齢化にともなう人手不足 ・交流人口増加 ・中部地区集落活動協議会事務局体制の強化 ・地域住民の団結力や参画意識の醸成	◆地域交流活動の展開 ◆北川村温泉との連携 ◆田舎暮らし体験、移住促進への取組
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 北川村中部地区の活性化プロジェクト (北川村)	北川村中部地区の集落活動の展開と北川村温泉の改修を契機とした誘客の強化により、交流人口を拡大することで、中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	・アクションプランの取組開始：H26 ・地場産品を販売する温泉直販市の設置(H25～) ・休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26～) ・温泉レストランでの地元産品の活用(H26) ・地域食材を活かしたイベントの開催(H26)	・地域住民の高齢化にともなう人手不足 ・交流人口増加 ・中部地区集落活動協議会事務局体制の強化 ・地域住民の団結力や参画意識の醸成	◆地域交流活動の展開 ◆北川村温泉との連携 ◆田舎暮らし体験、移住促進への取組
修正後					

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
地域交流活動の展開					→	交流イベント参加者数 (H27:400人)	700人
休耕田を活用した花畑づくりや関連イベントの企画、開催							
地域おこし協力隊導入の検討と公募	地域おこし協力隊の活用						
新たな活動の掘り起こし					→		
北川村温泉との連携							
温泉施設のリニューアル工事							
温泉再開後の北川村中部地区集落活動協議会の活動の検討					→		
温泉での直販コーナー運営等、温泉と地域との連携イベントの開催							
田舎暮らし体験、移住促進への取組					→		
小島地区への移住お試し住宅整備の検討と改修工事							
移住お試し住宅のPRと利活用(マスコミ、ホームページ、移住相談会での広報)							
田舎暮らし体験メニューづくり (ゆず収穫、鮎釣り、田舎寿司づくり、家庭菜園等)					→		
体験メニューの実施・ブラッシュアップ							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
地域交流活動の展開					→	交流イベント参加者数 (H27:400人)	700人
休耕田を活用した花畑づくりや関連イベントの企画、開催							
地域おこし協力隊導入の検討と公募	地域おこし協力隊の活用						
新たな活動の掘り起こし					→		
北川村温泉との連携							
温泉施設のリニューアル工事							
温泉再開後の北川村中部地区集落活動協議会の活動の検討					→		
温泉での直販コーナー運営等、温泉と地域との連携イベントの開催							
田舎暮らし体験、移住促進への取組					→		
小島地区への移住お試し住宅整備の検討と改修工事							
移住お試し住宅のPRと利活用(マスコミ、ホームページ、移住相談会での)							
田舎暮らし体験メニューづくり (ゆず収穫、鮎釣り、田舎寿司づくり、家庭菜園等)					→		
体験メニューの実施・ブラッシュアップ							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 《馬路村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会)	アクションプランの取組開始:H26 ・魚梁瀬ふるさと応援隊2人の採用(H26) ・ふるさと応援隊による魚梁瀬バスポート、雑祭りなど交流人口の拡大に向けた活動の開始(H26) ・農業振興センター、森林技術センターと連携した地域資源調査の開始(H28) ◆ふるさと応援隊による交流人口の拡大に向けた取組や魚梁瀬50年記念イベントの開催を通じて、地域住民の参加意識が醸成されつつある。	・住民組織の活性化 ・ふるさと応援隊による地域の巻き込み、住民との連携(リーダー・担い手の確保、育成) ・新たな外部人材の導入による体制の強化	◆外部人材の導入と住民組織づくり ◆地域資源を活用した産業おこし ◆魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 《馬路村》 <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会)	アクションプランの取組開始:H26 ・魚梁瀬ふるさと応援隊2人の採用(H26) ・ふるさと応援隊による魚梁瀬バスポート、雑祭りなど交流人口の拡大に向けた活動の開始(H26) ・農業振興センター、森林技術センターと連携した地域資源調査の開始(H28) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H29、馬路村の観光振興) ◆ふるさと応援隊による交流人口の拡大に向けた取組や魚梁瀬50年記念イベントの開催を通じて、地域住民の参加意識が醸成されつつある。	・住民組織の活性化 ・ふるさと応援隊による地域の巻き込み、住民との連携(リーダー・担い手の確保、育成) ・新たな外部人材の導入による体制の強化	◆外部人材の導入と住民組織づくり ◆地域資源を活用した産業おこし ◆魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
外部人材の導入と住民組織づくり					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
高知ふるさと応援隊の追加導入							
高知ふるさと応援隊による地域活性化、観光振興、生活支援等の活動							
応援隊と住民による 地区活性化に向けた定期的な話し合い							
地域活性化に向けた地域住民、小中学校、村役場協働の組織づくりとその運営							
土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成							
地域資源を活用した産業おこし					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
魚梁瀬50年記念行事を契機とした地域活性化の取組							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘							
農業・林産等の資源の 有効活用に向けた検討 (資源のリストアップ)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業化検討 (人材の確保・育成、 視察研修) ・事業の試行による 課題抽出・改善 						
	事業計画策定		事業の本格実施				
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討及び情報発信							
					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
外部人材の導入と住民組織づくり					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
高知ふるさと応援隊の追加導入							
高知ふるさと応援隊による地域活性化、観光振興、生活支援等の活動							
応援隊と住民による地区活性化に向けた定期的な話し合い							
地域活性化に向けた地域住民、小中学校、村役場協働の組織づくりとその運営							
土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成							
地域資源を活用した産業おこし					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
魚梁瀬50年記念行事を契機とした地域活性化の取組							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘							
農業・林産等の資源の 有効活用に向けた検討 (資源のリストアップ)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業化検討(人材の確保・育成、視察研修) ・事業の試行による課題抽出・改善 						
	事業計画策定		事業の本格実施				
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討及び情報発信							
					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり 《芸西村》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	村内で活躍する住民が集落活動センターを中心に集結し、村製品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に取り組むことにより、村の強みを活かし、地域活性化を図る。	・芸西村 ・芸西村集落活動センター推進協議会	アクションプランの取組開始:H28 【運営主体の取組】 ・集落支援員導入(H27) ・芸西村集落活動センター推進協議会設立(H27) ・集落活動センター「げいせい」開所(H27) ・事務所開設(H28) ・定例会・部会の開催(H28～) 【外部人材の導入】 ・集落活動センター推進アドバイザー制度の活用(H28) ◆定例会・部会の開催により、地域の意見や課題の抽出が行われ、新規事業として耕作放棄地でのサトウキビ栽培と住民の集いの場づくりの取組が始まった。また、地域住民の取組への参加意識も醸成されつつある。	・集落活動センターの円滑な運営の継続 ・地域住民の参画	◆地域情報の発信 ◆移住・定住サポート ◆特産品づくりと外商活動 ◆生きがいづくりと生活支援



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり 《芸西村》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	村内で活躍する住民が集落活動センターを中心に集結し、村製品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に取り組むことにより、村の強みを活かし、地域活性化を図る。	・芸西村 ・芸西村集落活動センター推進協議会	アクションプランの取組開始:H28 【運営主体の取組】 ・集落支援員導入(H27) ・芸西村集落活動センター推進協議会設立(H27) ・集落活動センター「げいせい」開所(H27) ・事務所開設(H28) ・定例会・部会の開催(H28～) 【外部人材の導入】 ・集落活動センター推進アドバイザー制度の活用(H28) ◆定例会・部会の開催により、地域の意見や課題の抽出が行われ、新規事業として耕作放棄地でのサトウキビ栽培の取組が始まった。また、地域住民の取組への参加意識も醸成されつつある。 ◆活動メンバーへのしきみ・機材の販売等の事業収益の分配が始まり、集落活動センターの経済活動の取組に進展があった。	・集落活動センターの円滑な運営の継続 ・地域住民の参画	◆地域情報の発信 ◆移住・定住サポート ◆特産品づくりと外商活動

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域情報の発信					サトウキビ収穫量 (H27:0t)	5t	
PR方法検討	PRの実施						
村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営							
移住・定住サポート					移住世帯数 (H24~27:3世帯)	5世帯 (H28~31累計)	
空き家掘り起こし							
移住相談会等への参加・情報発信							
特産品づくりと外商活動					特産品づくりと外商活動		
伝統作物(サトウキビ)の生産・販売							
加工施設の検討	加工施設の建設・運営・特産品開発						
外商活動							
生きがいづくりと生活支援					生きがいづくりと生活支援		
調査・内容検討		活動の展開					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域情報の発信					サトウキビ収穫量 (H27:0t)	5t	
PR方法検討	PRの実施						
村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営							
移住・定住サポート					移住世帯数 (H24~27:3世帯)	5世帯 (H28~31累計)	
空き家掘り起こし							
移住相談会等への参加・情報発信							
特産品づくりと外商活動					特産品づくりと外商活動		
伝統作物(サトウキビ)の生産・販売							
加工施設の検討	加工施設の建設・運営・特産品開発						
外商活動							